

施策評価シート

施策番号【5-2】

評価年度	令和2年度	事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	野々山 千広		
施策番号	5-2	施策名	環境にやさしいまちにしよう			総合計画掲載頁	128～
主担当部名	環境経済部						
関連課名	環境課						

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間目標値と最終目標値の確認）

取組分野1		地球環境の保全	R5	R10
指標名	CO2総排出量		目標値	目標値
指標の定義	市内におけるCO2総排出量		90万トン以下	83万トン以下
取組分野2		循環型社会	R5	R10
指標名	再利用資源回収率		目標値	目標値
指標の定義	家庭系ごみの総排出量に占める再利用資源回収量の割合		27%	28%
取組分野3			R5	R10
指標名			目標値	目標値
指標の定義				
取組分野4			R5	R10
指標名			目標値	目標値
指標の定義				
取組分野5			R5	R10
指標名			目標値	目標値
指標の定義				

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 地球環境の保全							
	成果指標名	「エコエネルギー促進事業補助金」利用件数	単位 件数	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			指標設定の考え方	市内におけるCO2排出量を削減するため、「エコシステム」及び「エコカー」導入を図り、購入等に対する助成を行う。				
	対象	市民	把握方法	累計補助件数				

指標②	取組分野1 地球環境の保全							
	成果指標名	「再生可能エネルギー普及啓発事業」利用事業者数	単位 件数	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			指標設定の考え方	再生可能エネルギーの普及啓発のため、省エネ診断等の事業を実施する。				
	対象	事業者	把握方法	省エネ診断等の事業実施件数(累計)				

指標③	取組分野2 循環型社会							
	成果指標名	資源ごみ回収推進活動数	単位 件数	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			指標設定の考え方	ごみの減量と資源の有効活用を図るため、資源ごみの回収団体に対する支援を行う。				
	対象	資源ごみの回収団体	把握方法	資源ごみ回収団体の活動件数				

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
		指標設定の考え方						
	対象		把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
		指標設定の考え方						
	対象		把握方法					

3 施策の評価 ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・省エネ・省資源並びにCO2削減に取り組むため、住宅系クリーンエネルギーシステムを設置した場合と低公害車を購入した市民及び低公害車を購入した事業者に対して助成を行っている。 ・市内において活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が資源ごみ回収事業を行った際に、回収量に応じて助成を行い、リサイクルの推進を図っている。	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・CO2削減など自然環境への負荷軽減のため、電気・水の節約などの生活様式の見直しを行うとともに、再生可能エネルギーの必要性を理解し、その利用に努める。 ・市民は、分別回収やリサイクル活動に努め、ごみの排出の少ない生活様式への転換を行う。また、事業者は、事業活動によって発生する廃棄物の抑制を目指し、リサイクルによるゼロエミッション（排出量の実質ゼロを目指すこと）を実践する。
	行政	・地球環境の負荷が少なく、温室効果ガスを削減した低炭素社会の実現を目指すため、省電力、省エネルギー促進のための補助制度の実施や環境保全のための各種PRを行う。 ・市民のリサイクル意識を向上し、資源の再利用や再資源化を目指すため、リサイクルステーションの増設や3Rに関する各種PRを実施する。
近隣市町との比較	リサイクル率の比較(H30) みよし市19.3%、豊田市19.7%、刈谷市18.6%、日進市25.3% （出典 平成30年度一般廃棄物処理事業実態調査 愛知県）	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
平成30年度以前の活動	・住宅系クリーンエネルギーシステムを設置した場合と低公害車を購入した市民に対して助成を行った。 ・市内において活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が資源ごみ回収事業を行った際に、回収量に応じて助成を行い、リサイクルの推進を図った。
令和元年度の活動内容	・住宅系クリーンエネルギーシステムを設置した市民に対する助成にZEHを対象として加えた。また、低公害車を購入した事業所に対して助成を行った。 ・市内において活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が資源ごみ回収事業を行った際に、回収量に応じて助成を行い、リサイクルの推進を図った。 ・家庭ごみ計画収集でペットボトルの収集を開始した。
積み残し課題等	・市内のCO2総排出量を減少させるためには、製造業の事業所からの排出割合が高いため、事業所の取組を促すための啓発が必要。 ・家庭ごみの中に、リサイクルできる資源が含まれているので、市民への更なるリサイクルの徹底の周知をすることが必要。

4 活動計画 ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和2年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・市内におけるCO2排出量削減のために調査・研究し、方向性を定める。 ・ごみの計画収集の細分化により、ごみの減量化とリサイクル率の向上を図る。 ・環境基本計画に基づく取組を推進し、ゼロカーボンシティの実現を目指す。
施策目標達成に向けての令和2年度の活動内容	・CO2排出量削減の先進地を視察し、次年度以降の活動内容を決定する。 ・ごみの計画収集にプラスチック製容器包装を追加し、リサイクル率の向上を図る。 ・ゼロカーボンシティの実現を視野に入れた環境基本計画を策定する。